

記載例

埼玉県原材料価格高騰対策支援事業 支援カルテ

フリガナ	カフシキガイシャ サイトマ			作成日	令和5年10月20日
事業者名	株式会社 埼玉			記入者	専門家名・認定支援機関名
住所	〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号				中小企業診断士 浦和 次郎
相談者	役職	代表取締役	名前	埼玉 太郎	相談日 (複数可)
電話番号	048-762-3040		e-mail	genzaikakaku@sai-smeca.org	
業種(大分類)	製造業	取扱品目	金属部品		
事業概要 (100-200文字)	創業〇〇年の企業で、自動車や医療機器の部品など、幅広く金属部品の加工・製造を行っている。独自の技術力により、国内だけでなく海外のメーカーにも製品供給を行っている。主要な製品としては、〇〇や〇〇などがある。				

1. 取組の方向性 (該当する項目に○をすること)

<input type="checkbox"/>	原材料の転換	<input checked="" type="checkbox"/>	原材料の使用量削減
--------------------------	--------	-------------------------------------	-----------

2. 原材料価格高騰の影響・課題

(1) 高騰している原材料名	原材料名(複数可):	めっき鋼材、銅
(2) 影響及び課題	<p><b>【影響】</b> 埼玉県のホームページで提供されている「価格交渉支援ツール」によると、令和2年1月と比べて令和5年8月時点で、めっき鋼材は〇〇%、銅は〇〇%の値上がりとなっている。年間では、〇〇〇万円のコスト増となっており、原材料費の上昇が利益率低下の大きな要因となっている。</p> <p><b>【課題】</b> 現行のレーザー加工機は不良品率や廃棄ロスが高く、歩留まり率は〇〇%となっており、原材料費のコストダウンを図るため、歩留まり率を向上させることが課題となっている。</p>	

【注】「価格交渉支援ツール」  
(<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0801/library-info/kakakukoushoutool.html>)  
を使用せず、実際の仕入価格等による比較でも構いません。

【注】「支援カルテ」においては、必ずしも定量的な数字を記載しなくても構いません。(なお、「支援カルテ」をもとに、申請事業者様が申請書類に具体的な記載をしていただくこととなります。)

3. 課題の解決に向けて取り組むべき内容及び助言

(1) 取り組むべき内容、助言内容	精度が高く、不良品や廃棄ロスが出づらい最新型のレーザー加工機を導入することにより、歩留まり率を向上させる。
-------------------	---

4. 導入を推奨する機械装置、製品開発、販売促進事業に係る具体的な内容

※補助金の申請内容と齟齬が出ないよう、事業者にも確認の上で、導入を推奨するものを記載してください。

(1) 機械装置等の名称	レーザー加工機	【注】必ずしも製品名やメーカー名を記載しなくても構いません。
(2) 想定される投資費用	〇〇〇万円	【注】おおよその金額でも構いません。
(3) 具体的な内容(仕様、活用方法等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ制御により、既存の設備と比べ、精密な作業が可能。</li> <li>・精密な作業が可能なことから、不良品や廃棄ロスが〇〇%程度減少する見込み。</li> </ul>	【注】「支援カルテ」においては、必ずしも定量的な数字を記載しなくても構いません。(なお、「支援カルテ」をもとに、申請事業者様が申請書類に具体的な記載をしていただくこととなります。)

5. 期待される効果: 原材料の転換、使用量削減、コスト削減等の効果及び経営体質改善の効果

(1) 期待される効果	<p>新しいレーザー加工機の導入により、不良品や廃棄ロスが減り、歩留まり率が〇〇%から〇〇%まで上昇することが期待できる。</p> <p>それにより、年間〇〇〇万円のコストダウンにつながる。</p> <p>また、工数の減少や今まで対応できなかった製品の製造にも対応できるようになるなど、経営状況の改善に対する影響も大きい。</p>	【注】「支援カルテ」においては、必ずしも定量的な数字を記載しなくても構いません。(なお、「支援カルテ」をもとに、申請事業者様が申請書類に具体的な記載をしていただくこととなります。)
-------------	---	--